



平成 25 年 3 月 11 日

報道関係各位

ACC カンヌライオンズ「ヤング クリエイティブ コンペティション」
国内選考会結果発表

フィルム部門、プリント部門でそれぞれファイナリスト 4 チームを選出。
ワークショップを経て、日本代表各 1 チームを決定。

社団法人 全日本シーエム放送連盟

社団法人 全日本シーエム放送連盟（略称：ACC、東京都港区、理事長：永田 圭司）は、国際的に通用する若手クリエイターの育成を目的として、ACC カンヌライオンズ「ヤング クリエイティブ コンペティション」国内選考会を実施しました。3 月 11 日に選考会を開催して慎重に審査した結果、フィルム部門に河上 洋樹さん（ビーコン コミュニケーションズ株式会社）、泉田 岳さん（太陽企画株式会社）のチーム、福田建二郎さん（太陽企画株式会社）、磯部建多さん（株式会社電通）のチーム、長久 允さん、佐藤 雄介さん（株式会社電通）のチーム、高橋 優さん（株式会社電通）、古屋 遙さん（太陽企画）のチームの 4 チーム、プリント部門に中野 剛さん、堀 靖幸さん（株式会社アサツー ディ・ケイ）のチーム、岡田 啓祐さん（株式会社電通テック）、伊藤 みゆきさん（株式会社電通）のチーム、大田 有香里さん、湧川 晶子さん（株式会社電通テック）のチーム、藤田 卓也さん、工藤 尚弥さん（株式会社電通）のチームの 4 チームがファイナリストとして選出されました。

昨年 2012 年より人材の育成という観点から、国内選考会ではそれぞれ複数チームをファイナリストとして選び、トップクリエイターが行うワークショップ（第 2 次選考）に参加した上で、最優秀各 1 チームをカンヌに派遣することとしました。

見事日本代表に選ばれたチームには、6 月にフランス・カンヌ市で開催される「カンヌライオンズ国際クリエイティビティ・フェスティバル（通称：カンヌライオンズ）」の「ヤングクリエイティブ コンペティション」に参加し、世界各国代表の若手クリエイターとクリエイティブ・アイデアと表現技術を競うことになります。ACC が派遣費用の一部を援助します。

当連盟国際委員会は、海外の著名広告コンクール結果を紹介していくことで、常にわが国のクリエイターに新しくグローバルな情報を提供し、CM の質的向上に努めております。海外広告賞の中で、最も権威があると称されている「カンヌライオンズ」については、ACC は、現地視察ツアーのご案内、現地会場での ACC ラウンジ開設及び専用登録ブースの設置、フィルム部門審査員選考、そしてカンヌライオンズ「ヤング クリエイティブ コンペティション」日本代表チーム選出・派遣といった活動を行っております。

2013ACC カンヌライオンズ「ヤング クリエイティブ コンペティション」国内選考会は、フィルム部門が「アースアワー」、プリント部門が「野生生物の違法取引 根絶キャンペーン」をテーマに広告を制作していただきました。英語によるオリエンテーション後、規定時間以



社団法人 全日本シーエム放送連盟

〒105-0004 港区新橋 3-1-11 長友ランディックビル 5F TEL.03-3500-3261

内に作品を提出していただくという現地同様の方法で行い、その応募広告をカンヌライオンズ審査員経験者によって審査しました。本年はフィルム部門 76 チーム 152 人（昨年 92 チーム 184 人）、プリント部門 122 チーム 244 人（昨年 126 チーム 252 人）が参加、熱戦を繰り広げました。審査会は 3 月 11 日に行われ、その結果は当日午後 6 時 30 分より開催されたファイナリスト発表会で発表しました。

実施要領と結果は別紙のとおりです。

この件に関するお問い合わせ先
(社) 全日本シーエム放送連盟 (ACC)
〒105-0004 東京都港区新橋 3-1-11 長友ランディックビル 5 階
電話 03-3500-3261 FAX 03-3500-3263
ホームページ <http://www.acc-cm.or.jp>
担当：藤井 小原



**ACC カンヌライオンズ「ヤング クリエイティブ コンペティション」国内選考会
結果と実施要領**

＜結果＞ファイナリスト ※ワークショップを経て、日本代表各 1 チームを選出します。

【フィルム部門】

河上 洋樹さん(ビーコン コミュニケーションズ株式会社)、
泉田 岳さん (太陽企画株式会社) のチーム

福田 建二郎さん (太陽企画株式会社)、磯部 建多さん (株式会社電通) のチーム

長久 允さん、佐藤 雄介さん (株式会社電通) のチーム

高橋 優さん (株式会社電通)、古屋 遙さん (太陽企画) のチーム

【プリント部門】

中野 剛さん、堀 靖幸さん (株式会社アサツー ディ・ケイ) のチーム

岡田 啓祐さん (株式会社電通テック)、伊藤 みゆきさん (株式会社電通) のチーム

大田 有香里さん、湧川 晶子さん (株式会社電通テック) のチーム

藤田 卓也さん、工藤 尚弥さん (株式会社電通) のチーム

＜スケジュール＞

オリエンテーション	2月25日(月)	プリント部門/フィルム部門
作品提出	プリント部門	2月26日(火)
	フィルム部門	2月27日(水)
選考会	3月11日(月)	
ファイナリスト発表会	3月11日(月)	18:30~選考結果発表と講評、参加者懇親会

＜オリエンテーション＞ 審査員が英語でオリエンテーションと課題の発表をしました。

＜審査員＞

鏡 明氏 (審査委員長/ドリル) 大谷 義智氏 (読売広告社)
河野 俊哉氏 (博報堂DYメディアパートナーズ) 佐藤 カズー氏 (TBWA\HAKUHODO)
新妻 英信氏 (博報堂) 古川 裕也氏 (電通) 溝口 俊哉氏 (マッキンゼーエリクソン)



<課題>

【フィルム部門】

■ テーマ： EARTH HOUR

■ クライアント：WWF

WWF (World Wide Fund for Nature：世界自然保護基金) は約100カ国で活動している環境保全団体です。

■ 提出物：Film 30秒

■ テーマについて：

「Earth Hour (アースアワー)」は、WWFの地球温暖化防止キャンペーンの一環として始まりました。このムーブメントは、2007年3月31日の夜。オーストラリアのシドニーで、220万の世帯と企業が1時間にわたって電気を消したことが始まりです。

そして、わずか1年後。このムーブメントは35カ国5000万人以上の人々が参加し、「EARTH HOUR」は世界中の人たちが参加する大きなムーブメントとして広がっています。

シドニーのハーバーブリッジ、トロントのCNタワー、サンフランシスコのゴールデンゲートブリッジ、ローマのコロシウム、そして日本の東京タワー、これらの世界的なシンボルの照明が消され、夜の闇のなかに、地球温暖化問題に立ち向かう決意の象徴として、その姿を現したのです。

現在、「EARTH HOUR」は、毎年、約100を超える国々と、約4000を超える都市が参加して開かれる世界最大の地球温暖化防止のイベントになりました。「EARTH HOUR」には、誰もが簡単に参加することができます。

- 3月23日の午後8時30分（各国の現地時間）に、電気の灯りを消します。
- 普段の暮らしと、地球温暖化問題とのつながりを、静かに考えます。
- そして、世界の人びとが同じ気持ちを抱いていることを思ってください。
- 午後9時30分になったら、ろうそくを消し、明かりをつけましょう。

■ 目的

2013年の3月23日（土）20時30分、今年も、世界各国でEARTH HOURが行なわれます。イベント当日までオンエアされることを想定し、より多くの人々が地球温暖化問題を考え、EARTH HOURに参加するよう呼びかけてください。

■ ターゲット

全ての生活者



【プリント部門】

■ テーマ：STOP ILLEGAL WILDLIFE TRADE
(野生生物の違法取引 根絶キャンペーン)

■ クライアント：WWF

WWF (World Wide Fund for Nature：世界自然保護基金) は約100カ国で活動している環境保全団体です。

■ 提出物：雑誌見開き / 2-page magazine spread

■ テーマについて：

「ILLEGAL WILDLIFE TRADE」とは、野生生物を違法に捕獲し、売買取引を行うことを意味します。

今日、世界の各地で「ILLEGAL WILDLIFE TRADE」が深刻化しています、とりわけサイ、トラ、ゾウは、その角や牙を狙った大規模な密猟のために、彼らの生存さえも危ぶまれる状況です。

「ILLEGAL WILDLIFE TRADE」をなくすには、私たち生活者が、違法取引製品について知り、それらを使わない、購入しないことも大切ですが、産出国（売り手）そして、需要国（買い手）の両国に調査やパトロール活動を行ったり、取引規制についての提言を各政府に促すことも重要です。

危機にある野生生物を守り、人間が多様な生命と共存できる地球の未来を目指すために、WWFは世界規模で「野生動物の違法取引根絶キャンペーン / STOP ILLEGAL WILDLIFE TRADE」をとり行います。

■ 目的

2013年3月にタイで開催される「第16回ワシントン条約締約国会議」が開かれます。産出国と需要国の政府が違法取引根絶へ具体的なアクションを取るよう、各国のリーダー達に強く働きかけ、サインを導くように、訴えかけてください。

■ ターゲット

各国のリーダー達

<選考結果発表>

選考の結果は、審査当日にファイナリスト発表会を開催し、その席でファイナリストの発表を行いました。ファイナリスト発表会会場には、全エントリー作品が掲示され、発表の際に審査員から講評をいただきました。発表会にはエントリーチーム全員を招待し、ACC理事、国際委員会委員及び関係者も出席しました。

<カンヌライオンズ 国際クリエイティビティ・フェスティバル 日本代表>

株式会社東映エージェンシー



<協力と協賛>

ゲッティ イメージズ ジャパン株式会社



カンヌライオンズ公式イメージプロバイダー会社であるゲッティ イメージズの日本人より本コンペティション・プリント部門へ素材の提供をいただいております。

株式会社 AOI Pro.

株式会社アサツー ディ・ケイ

株式会社博報堂

<カンヌライオンズ ヤング クリエイティブ コンペティションとは>

1995年から始まったカンヌライオンズのスペシャルイベントとして注目される催しです。世界30ヶ国以上の国別代表チーム(28歳以下のクリエイター)が出場し、現地で出題された同一課題に対して規定時間以内に広告を提出し、競うクリエイティブコンペティションです。1位~3位のチームが現地の表彰式で顕彰されます。

<ご参考：これまでの国内選考会の課題と優勝者(敬称略)>

【フィルム部門】

年	課題	優勝者
2006	フカひれの需要を抑制する	(株)電通 佐藤玲彦、大島美緒
2007	もっと歩こう!	(株)電通 北田有一、(株)葵プロモーション 菊池浩史
2008	もっと読書を!	オグルヴィ・アンド・メイザー・ジャパン(株) 杉山元規、長部洋平
2009	ネットいじめ	(株)アサツー ディ・ケイ 武井哲史、(株)東北新社 高島夏来
2010	フード マイル	(株)博報堂 小笠原 健、徳野 佑樹
2011	水の危機	(株)ダンスノットアクト 上野 恵、(株)読売広告社 山澤 雅之
2012	廃棄物ゼロ	(株)パーティー 六反 孝幸、(株)ハット 竹林 亮

【プリント部門】

年	課題	優勝者
2003	遺伝子組換え食品	(株)電通 山田慶太 佐藤 拓
2004	ユニバーサルデザイン	(株)電通 藤井亮、張間純一
2005	小児肥満問題	(株)電通 後藤一臣 神原秀夫
2006	少年犯罪	(株)博報堂 下東史明 宮脇亮
2007	動物園で虐待されている動物の救護	(株)アサツー ディ・ケイ 青柳有美子、砥川直大
2008	少年兵の禁止	(株)ライトパブリシティ 大野瑞生、武田正文
2009	アニマルセラピー	(株)電通 工藤真穂 土居美由希
2010	存在しない子どもたち	(株)電通 大山 徹、(株)電通テック 伊藤 真也
2011	ドメスティックバイオレンス	(株)電通 高橋 優、三國 菜恵
2012	児童労働	(株)電通 高田 麦、竹村 優奈